

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

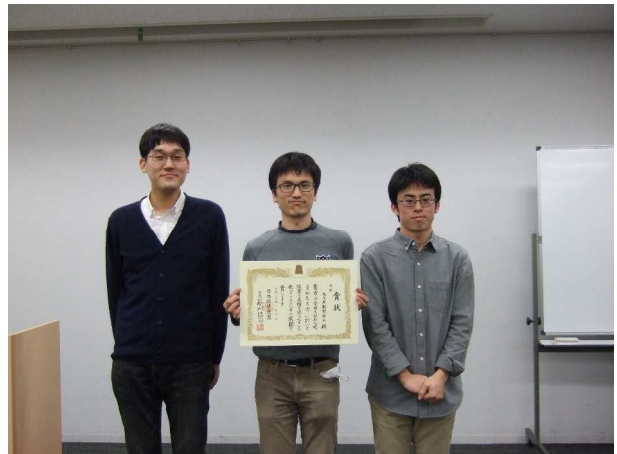
## 1 愛知県代表に名古屋創龍会支部、井上輝彦さん、土屋万太郎さん

小雨の降り続く2月5日(日)、名古屋港湾会館にて、第46回将棋支部対抗戦22チーム、同支部名人戦17名、第24回全国シニア名人戦17名の参加で行われました。

雨の影響か昨年より少し参加者は減少しましたが、愛知県代表の座をかけて熱戦が展開されました。

支部対抗戦決勝は名古屋創龍会支部同士の決戦となり、名古屋創龍会Aが名古屋創龍会Bを破って西日本大会へ駒を進めました。

支部名人戦は井上輝彦さんが稲葉聡さんを



破り、愛知県代表となりました。この二人は全国トップレベルの実力者で、対戦者の周りは大変な人ばかりでした。

シニア名人戦は土屋万太郎さん(名古屋市役所支部)が、代表経験もある浜田勝さん(あいち犬山小牧支部)を押し切って初の代表の座に輝きました。

上記代表は、来る4月22日(土)~23日(日)に兵庫県尼崎市の都ホテルニューアルカイクにて開催される西日本大会に出場します。皆さんの健闘を心から応援しております。

|                | 優勝                                  | 準優勝                                   | 第三位                              |
|----------------|-------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 支部対抗戦<br>22チーム | 名古屋創龍会支部A<br>杉野 友輔<br>松浦 正樹<br>木村 陸 | 名古屋創龍会支部B<br>瀬見井 伸輔<br>西村 晃宏<br>太田 智貴 | 愛知棋匠会B<br>櫻井 秀哉<br>渡邊 俊幸<br>中嶋 郁 |
| 支部名人戦<br>17名   | 井上 輝彦<br>(個人会員)                     | 稲葉 聡<br>(個人会員)                        | 原田 智也<br>(春日井支部)                 |
| シニア名人戦<br>17名  | 土屋 万太郎<br>(名古屋市役所支部)                | 浜田 勝<br>(あいち犬山小牧支部)                   | 京 文雄<br>(東三河支部)                  |
| 一般戦A<br>4名     | 緒方 惟月<br>(弥富市)                      | 小山 竜之介<br>(豊橋市)                       | 伊覇 逞<br>(名古屋市北区)                 |
| 一般戦B<br>28名    | 安藤 勇夫<br>(碧南市)                      | 河江 祥太<br>(知多市)                        | 杉浦 彰<br>(西尾市)                    |
| 早指し戦<br>23名    | 緒方 惟月<br>(弥富市)                      | 菅原 秀雄<br>(瀬戸市)                        | 小山 竜之介<br>(豊橋市)                  |

## 2 第75期将棋名人戦挑戦者は稲葉陽八段に決定

今年の順位戦最終局は、2月25日(土)東京の将棋会館で一斉に4局が行われました。

名古屋会場の解説会は、今年はメイン解説棋士に中村太地六段を招いて、中田章道七段、杉本昌隆七段、澤田真吾六段、藤井聡太四段、中澤沙耶女流初段の6名の皆さんにお願いしました。午後1時から、藤井聡太四段を除く5名の棋士による指導対局を47名の皆さんが受けました。

午後6時からの解説会は、藤井効果か中村効果なのか東京、京都、明石などかなり遠方からの参加者が目立ちました。また、27歳のアメリカ人参加者も熱心に解説に聞き入っていました。次の一手は2回行い5名の棋士の色紙が賞品でしたが、東京から来た初心者という2名の女性は色紙を手「名古屋に来た甲斐がありました」と大喜びでした。

将棋の方は森内vs稲葉戦が千日手指し直しになり、終局はこの局で午前1時ごろだったと思います。挑戦権レースは意外な展開となり、2敗だった羽生善治三冠、広瀬章人八段が順次敗れて、自動的に稲葉陽八段の挑戦が決まりました。降級者1名は、屋敷伸之九段が羽生三冠を破った時点で、2勝の佐藤康光九段と3勝の森内俊之九段に絞られました。先に佐藤九段が広瀬八段に勝って3勝目を挙げ、稲葉vs森内戦の結果に委ねられました。内容的には稲葉八段が優勢のまま押切り、同じ3勝でも順位の差で森内九段の降級が決まりました。

今年の参加者は103名と昨年より少し少なかったですが、途中で席を立って帰る方が極めて少なく、最後まで集中した熱気のある雰囲気での解説会でした。



## 3 平成29年度愛知県支部連合会総会が50名の参加で盛大に開催

今は35支部150名の将棋普及指導員を擁する愛知県支部連合会ですが、22年前は13支部数名の将棋指導員という実態でした。板谷進九段が亡くなった後の当時、将棋の普及をどのように進めるかということで、当時の日本将棋連盟東海本部（本部長 板谷四郎九段）と愛知県の各支部の代表で協議をして、平成7年2月の愛知県支部連合会総会を名古屋国際ホテルにて開催しました。

そこから堀田正夫会長、鬼頭孝生幹事長を中心に名古屋市児童館への講師派遣と指導者不足を解消するため、将棋指導員を大幅に増員していく取り組みを始めました。

基本戦略は、支部、指導員の横のネットワークをよりきめ細かく張り巡らすこと、また、児童館レベルから、将棋教室こどもスクール、東海研修会（平成13年）、奨励会への棋力に応じた縦の普及システムの構築が目標でした。「県内子供がどこに住んでいても将棋が学べる環境の整備」を県支部連合会の目標としました。

22年経ってまだまだ道半ばですが全国の中でも有数の将棋普及先進県になりました。

2月5日、今回の総会も約50名の参加ですが、新しい指導員の皆さんも参加して大変熱気のある総会でした。また今年には役員改選でしたが、鈴木栄児さん（12月死去）、上羽憲男さん（療養）、近藤修さん（支部活動専念）の3名に代わり、赤塚輝元さん（東海普及連合会事務局）、安富徹さん（東海普及連合会大会運営）、垣見泰徳さん（東海団体リーグ）の3名を新しく迎えました。安富さん40代、垣見さん30代という若い世代の人材が県連に加わっていただきました。今後も愛知県支部連合会の役割は、支部の普及活動及び将棋指導員の普及活動の下支えと位置づけて活動をしてまいります。多くの支部、指導員、支部会員、将棋ファンの皆さんの期待に応えられるよう、東海普及連合会と協力して大変

な広域な普及活動を展開します。

なお、総会後の2月上旬、将棋指導員の高橋宏行さん（初代名古屋稲門クラブ支部支部長）がお亡くなりになりました。生前の普及活動に感謝するとともに、心からご冥福をお祈りします。

## 4 大きな収穫の名古屋の将棋指導者講習会

昨年から将棋指導者の新規開拓、或いは経験の浅い指導員の育成を目指して開始された将棋指導者講習会が、2月12日(日)名古屋栄の愛旅連ビルで開催されました。名古屋は昨年に続いての開催ですが、今年は1月21日(土)長野市、1月29日(日)大阪市に続く開催でした。

将棋連盟からは中川大輔常務理事、小田切秀人指導棋士五段、磯辺丈敏普及免状部部长、荒井泰志学校教育課担当の4名、東海地域からは杉本昌隆東海普及連合会副会長、山中利夫愛知県連会長、久保田豊岐岐阜県連会長、尾崎行孝三重県連副会長、鬼頭孝生棋道師範、竹河伊知郎棋道師範が参加しました。



最初に中川常務理事から「将棋連盟の普及についての考え方」及び「6枚落ちに関する定跡解説」、小田切五段からは「初心者指導のポイント」について丁寧な解説がありました。最後に竹河棋道師範から「将棋指導者講習会に参加の皆さんへ」及び「東海地域の将棋普及の現状」についてお話しをしました。

前日の大雪の関係もあり参加予定者数名の欠席がありましたが、兵庫、東京、富山、浜松、焼津などの遠方からの参加もあり、会議室は人で一杯になりました。関係者も含め約40名の参加でした。

この講習会に参加された新規対象者の皆さんには、東海普及連合会から全員に翌日以降連絡をさせていただきました。その結果、東京1名、兵庫1名、愛知4名の新たな指導員申請者が生まれました。また、今年の特徴は、30代1名、40代4名、50代2名現役世代の非常に若い将棋指導者が多いということです。私たちはこのような若い指導者を大切に育てる責務を、肝に銘じ頑張りたいと考えています。4月に行われる平成29年度将棋指導員資格審査は、名古屋会場においては13名の方が挑戦される予定です。新しい将棋指導員13名を迎えると愛知県約160名（全国の約5分の1）の将棋指導員が活動する条件が生まれます。

## 5 第5回星空将棋合宿in信州・清水高原

- (1) と き 平成29年3月26日(日)～3月28日(火) 2泊3日・7食付
- (2) と ころ スカイランドきよみず  
長野県東筑摩郡山形村清水高原7598-97
- (3) 参加棋士 佐藤康光九段 中山則男六段 澤田真吾六段 室谷由紀女流二段  
中澤沙耶女流初段
- (4) 定 員 Sクラス（奨励会を目指す方） 15名  
一般クラス（小中学生） 50名
- (5) 参加費 Sクラス 55,000円  
一般クラス 35,000円
- (6) 主 催 豊栄交通
- (7) 共 催 トヨタエンタプライズ  
日本将棋連盟東海普及連合会・長野県支部連合会



- (8) 後 援 中日新聞社  
(9) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

## 6 栄将棋教室春休み小・中学生将棋講座

- (1) と き 平成29年3月29日(水)～3月31日(金) AM10:00～PM3:00  
(2) と ころ 栄将棋教室  
(3) 講 師 竹内貴浩四段  
ゲスト棋士 船江恒平六段 中澤沙耶女流1級  
(4) 対 象 者 奨励会、研修会等を目標とする小中学生  
(5) 定 員 30名(先着順)  
(6) 参 加 費 10,000円(弁当付、棋書を含む)  
(7) 申込方法 ①氏名(ふりがな)、②学校・学年、③住所・電話番号をメール(kartracer@pdx.ne.jp)またはFAX(052-264-0655)で。  
(8) 主 催 栄将棋教室 代表 中山則男六段  
(9) 協 力 日本将棋連盟東海普及連合会 中部学生将棋連盟  
(10) 問 合 せ 棋道師範 竹内努 電話070-5642-6943

## 7 今後の予定

- 3月19日(日) 名古屋市児童館講師団会議  
3月26日(日)～28日(火) 第5回星空将棋合宿  
3月29日(水)～31日(金) 栄将棋教室春休み小・中学生将棋講座  
4月2日(日) 将棋指導員資格審査  
4月9日(日) 東山動植物園春まつりよいこの将棋大会  
4月22日(土)～23日(日) グッドライフフェスタ2017  
4月30日(日) 第38回全国中学生選抜将棋選手権愛知県大会  
4月30日(日) 全国小学生倉敷王将戦愛知県大会  
5月2日(火) 第75期名人戦第3局解説会  
5月7日(日) 第24回岡崎将棋まつり  
5月14日(日) 第12回名古屋小・中学生将棋大会  
5月20日(土) ねんりんピック2017あきた名古屋市予選大会  
5月21日(日) 第30回アマチュア竜王戦愛知県大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ ([http://www.geocities.jp/shogi\\_tokai/index.html](http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html)) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi\_tokai@ybb.ne.jp